

平成25年度施策評価表

作成年月 平成26年8月

分野名(章)	健康で互いに支え合うまちづくり	分野(章)番号	3
政策名(項)	地域福祉の増進	政策(項)番号	Ⅲ
施策名(目)	子育て支援の充実	施策(目)番号	①
担当課	子育て支援課(関係課 保健福祉課)	担当課長	佐藤 克朗

1. 施策の基本方針

施策目的	<p>・安心して子どもを産み育てることができるよう、また、次世代を担う子どもが心身ともに健やかに成長できるよう、子育て環境の総合的な整備や子育てに係る経済的負担の軽減等を図り、大人も子どもも笑顔と歓声にあふれる「丸森」になることを目的とする。</p>
------	---

2. 施策の現状分析

施策の概況	施策に対するニーズ等(具体的事項)	施策を取り巻く環境(社会環境、国・県の動向等)							
	<p>・共働き世帯の増加、就労形態の多様化などにより、様々な保育サービスの実施が望まれている。 ・核家族化の進展に伴い、子育てへの不安を抱える親が増加傾向にある。 ・長引く不況のなか、十分な賃金待遇が望めないことから、負担が多い子育て中の家庭への経済的支援が求められている。 ・小児科医が町内に不在のため、安心して子どもを育てられる医療提供体制が望まれている。</p>	<p>・少子高齢化の問題は、子どもの育ち、又は年金などの社会保障、労働力の低下などの影響が懸念されていることから、国においては、「少子化社会対策基本法」、「次世代育成支援対策推進法」を制定し、各種施策を展開しており、子育て支援の重要性に対する社会環境は大きく変化している。 ・更に、平成27年度から新たに子ども・子育て新制度がスタートする予定であり、地域内の需要状況を勘案しながら教育・保育サービスを確実に提供できる体制構築が求められている。</p>							

施策指標(成果指標)	指標の内容	達成度(上段:目標 下段:実績)							
		H23	H24	H25	H26	H27	H27目標	備考(他団体状況含む)	
主要	保育所定員充足率	目標			90%	90%	90%		
		実績	87.6%	72.1%	83.8%			90.0%	
		達成率			93.1%				
参考①	子ども医療費1件あたりの医療費助成額	目標			2,202円	1,985円	1,985円		
		実績	1,983円	1,953円	1,985円			1,156円	
		達成率			90.1%				
参考②	子育て支援センター利用率	目標			50%	50%	50%		
		実績	44.9%	38.7%	40.6%			50.0%	最大月利用実児童52人/3歳未満の在宅児童数128人
		達成率			81.2%				
参考③	出生者数	目標			110人	110人	110人		
		実績	74人	66人	79人			110人	
		達成率			71.8%				
参考④		目標							
		実績							
		達成率							

3. コストの推移(行政資源投入の状況)

		平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度	平成27年度
		(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(当初予算)	(見込み)
事業費		581,886千円	562,371千円	592,784千円	576,324千円	589,314千円	588,695千円
財源内訳	国庫支出金	190,972千円	161,484千円	178,893千円	179,342千円	177,107千円	165,347千円
	県支出金	31,861千円	38,573千円	49,372千円	64,459千円	64,892千円	64,892千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	(うち過疎債)	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	その他特定財源	63,444千円	63,400千円	13,746千円	16,346千円	15,957千円	16,047千円
	一般財源	295,608千円	298,914千円	350,595千円	316,163千円	330,855千円	342,475千円
従事者数	正職員	6.58人/年	6.18人/年	7千円	6.74人/年	6.80人/年	6.00人/年
	臨時職員	1.00人/年	0.00人/年	千円	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年
人件費	正職員	44,282千円	42,131千円	47,458千円	45,761千円	46,167千円	40,735千円
	臨時職員	1,680千円	千円	千円	千円	千円	千円
	退職給与引当金	5,669千円	5,772千円	6,363千円	6,135千円	6,183千円	5,455千円
	トータルコスト	633,517千円	610,274千円	646,605千円	628,220千円	641,664千円	634,885千円

4. 施策の評価

有効性の評価	施策成果の達成度	b	a達成度は非常に高い b達成度はやや高い c達成度はやや低い d達成度は低い
	[説明]		・保育所型認定こども園の開園や子育て支援センター事業の充実、第2子以降児童保育料無料化制度、放課後児童クラブの拡充などを通じて子育て環境の整備を着実に進めている。
	施策成果向上の可能性	b	a可能性は十分ある bある程度可能である c可能性はあまりない d可能性はない
	[説明]		・子育て支援のまちづくり推進計画を策定し、総合的な子育て支援、子育て環境の整備を図ることにより、成果を向上させることはある程度可能である。
	貢献度	a	a貢献度は非常に高い b貢献度はやや高い c貢献度はやや低い d貢献度は低い
[説明]		・計画に基づき各課横断的に子育て支援施策を推進することにより、町内の若者定住に繋がり、子どもから大人まで健康で互いに助け合いながら健康づくりに取り組む環境づくり推進のため、貢献度は高い。	

5. 施策の課題

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援の担い手として期待される地域の人材や専門職などのマンパワーが不足しており、施策推進に大きな障害となっている。 ・子育て支援サービスの充実に伴い、一部の保護者のなかには、子育てを児童施設等に任せきりで、親としての責任と自覚が低下しているケースも見受けられるため、虐待等につながらないよう決め細やかな支援策が必要である。
----	---

6. 施策の方向性

総合評価	担当課評価	次年度以降方針	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少と少子高齢化が急速に進行している当町にあって、町に活力を取り戻すためには若者世代の定住促進が不可欠であり、そのために、子育て支援のまちづくり推進計画に基づき安心して子どもを産み育てる環境づくりを着実に推進していく必要がある。
	この施策の事業費を「拡大」して取り組んでいく		

【総合評価】 拡大、維持、縮小

なお、「総合評価」については、H26の事業費とH27の事業費を比較したのみの評価となりますので、「次年度以降方針」の内容とは異なる場合があります。
必ずしもこの事業費の比較の評価が事業内容に繋がるとは限りません。